

青磁象嵌雲鶴紋の一輪挿し
せいじぞうがんくもんめいびし

高麗時代・十二世紀 高さ三〇・〇 cm

(大阪市立東洋陶磁美術館蔵)



青磁象嵌雲鶴紋の一輪挿し

一日韓校友總会 に出席して—

中 義 勝

一九七八（昭和五十三）年のことだったと思う。その年五月はじめのゴーレン・ウイーク中の一日、ソウルで日韓校友總会が開催されるというので私もお伴して訪韓の一行に加わった。釜山、慶州、儒城を経てソウルに達し、丁度、考古学の網干先生も同行されていたので各地で博物館や美術館を訪ねることも計画されており、また先生のお陰でかの国の美術史家その他の人々の歓迎と御好情をこうむることになった。こうして私は、多くの高麗や李朝の青磁や白磁に接し、眼福を肥やすことができた。

さすがに網干先生は物慣れたもので、早速、釜山での昼食のさい御持参の梅干をみなさん分けられ、私も頂戴して食べたが、これは、なんでも韓国料理に特有の葷味に対抗するためだということであった。最初のうちはこの香いにも平気であった私は、にんにくの根の部分なども生まねぎをかじるようにならぬかに食べたが、やがてにらの強烈な香いに圧倒され、韓国料理は一向に受けつけず、ホテルに帰つてから西洋料理を食べ直すようになった。

儒城では、ホテルで出されたのが韓国料理であったので、空腹であるにもかかわらず、その葷味に辟易して殆んど食がすまず、その夜さわれるままに近所の酒房で食事代わりに濁り酒を飲むこととなつた。さそつてくれたのは旧制京城中学校出身の校友X氏で、もちろん韓國語はペラペラで、ソウルでは骨董品店をひやかしましようというので、私の方では異議のあろうはずがなかつた。

ソウルに着いた夕べ、X氏のさそわるままに夕食前にホテル附近を散歩し、喫茶店でコーヒーを飲んだりした。ところが、その夜X氏とともに骨董屋をひやかすはずの約束が、韓国校友の招待によって果たせなくなり、当時「北朝鮮」との間の国情により非常時体制を敷いていたソウルでは夜の十二時以降の外出は禁止されていたので、十二時前にタクシーでホテルに帰つたことを鮮やかにおぼえている。そういうえばソウルへの途中、バスの窓から迷彩服を着た男女の高校生らしい生徒を多数みたが、まるで戦時中の日本のように感じたことであつた。なにしろ、十数年も前のことであつて、うたた今昔の感に耐えない。

大阪へ帰る朝、X氏が私の部屋を訪ねて雲鶴模様青磁の一輪挿しをくれた。曰く、「先生のお持ち物なら、誰も贋物とは思わないでしょう」。そうでもあるまいが、私は色といい、形といい、象嵌された模様といい、すべて気に入らつた。そのなかにも、別の土を象嵌した青磁の壺があつて、亡くなつた伯父が、これは高価なものだつたといつてた。おそらくは、これは贋物ではないであろう。

(法學部教授)

HEADLINE

2 面 本紙第200号記念「懸賞論文」

7 6 面 4・5 面 特集 わたしの故郷

面 新しく開講される総合コース

の審査結果

（K・I）

いう基準の設定や、ひろく国民に利用をうながす方法など、公文書館の役割は大きい。

文書館が制定され、歴史資料として重要な公文書等の保存及び利用に、国や自治体が責務を有すると明示されたことが、設立運動を勇気づけた。近代の公文書館は、フランス革命のさなか、アンシャン・レジーム期の事実関係・権利関係を克明に保存し、国民に公開したパリの国立公文書館が最初と言われるが、世界各国で公文書等は国民の財産として積極的に収集保存されてきた。日本でも明治初期までは、その保存に熱意をもつていたが、その後軽視され、重要な公文書等が大量に廃棄され、散逸し、今日もその傾向にある。県史編纂などのために収集された貴重な資料も、役所や図書館の書庫の片隅に埃をかぶつて放置されているケースもあり、専門職員の配置もされていない体制では管理が杜撰になるのもやむを得なかつた。図書などの印刷物と違い、その一点の資料が消滅すれば、そこに残されていった記録は永久に消え失せ、その歴史は空白になってしまつのであるから、何を廃棄し、保存するかと

千里眼

六十二年に公文書館が制定して設立を予定している自治体も少なくない。昭和

各地で公文書館の設立が相次いでいる。

ワンポイント・アドバイス [その四]

数年来の国際情勢の変化は、EC統合への幕明けと相まって、より複雑に展開することが予想される。図書館では、それらの国々の歴史・文化・政治・経済事情などを知りたいと思うが、どうすればよいか」といった質問をよく受ける。

このようなときは、各種の百科事典が諸君の強力な味方となろう。すでに、本紙でも内外の主要な百科事典を紹介したことがある(第十一~三十号)。

今回は、百科事典の効用と限界を踏まえながら、知りたい事柄を調べる手掛かりとしての、百科事典の一般的な使い方を見てみよう。

①百科事典は基本的な事柄を調べるもので、あらゆる分

いよいよ一九九二年、このことが予想される。図書館では、それらの国々の歴史・文化・政治・経済事情などを知りたいと思うが、どうすればよいか」といった質問をよく受ける。

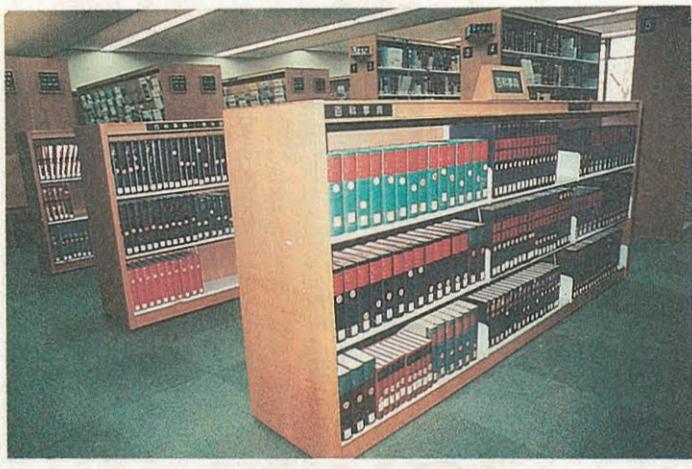
このように、百科事典が諸君の強力な味方となろう。すでに、本紙でも内外の主要な百科事典を紹介したことがある(第十一~三十号)。

今回、百科事典の効用と限界を踏まえながら、知りたい事柄を調べる手掛かりとしての、百科事典の一般的な使い方を見てみよう。

①百科事典は基本的な事柄を調べるもので、あらゆる分



調査の手掛かりに 百科事典を!



ずらりと並んだ各種百科事典

中国では西周の金文に「万寿」として記載されています。歴史的には慶賀、歓呼の詞として重要な意味を持つ。

中国では西周の金文に「万寿」として記載されています。歴史的には慶賀、歓呼の詞として重要な意味を持つ。

中国では西周の金文に「万寿」として記載されています。歴史的には慶賀、歓呼の詞として重要な意味を持つ。

中国では西周の金文に「万寿」として記載されています。歴史的には慶賀、歓呼の詞として重要な意味を持つ。

中国では西周の金文に「万寿」として記載されています。歴史的には慶賀、歓呼の詞として重要な意味を持つ。

中国では西周の金文に「万寿」として記載されています。歴史的には慶賀、歓呼の詞として重要な意味を持つ。

以上のことから、「万歳」の由来は、実際に寄せられた質問について眺めてみよう。

以上のことから、「万歳」の由来は、実際に寄せられた質問について眺めてみよう。

以上のことから、「万歳」の由来は、実際に寄せられた質問について眺めてみよう。

以上のことから、「万歳」の由来は、実際に寄せられた質問について眺めてみよう。

以上のことから、「万歳」の由来は、実際に寄せられた質問について眺めてみよう。

以上のことから、「万歳」の由来は、実際に寄せられた質問について眺めてみよう。

【岩崎卯一先生を想う】

岩崎卯一先生誕一〇〇年
祭実行委員会発行

新刊紹介

文学部教授 泉澄一著
『近世対馬陶窯史の研究』

関西大学出版部・九〇〇円

書名は著者の前校在任三

四年間』

(和泉書院・二八八四円)

記念会館において岩崎卯一先

生(昭和三十五年逝去)の生

誕一〇〇年記念祭が催され

た。故人の誕生日が催され

ること自体、先生を敬慕する人

の多きを物語るが、その時の

記念文集としてこの書が発刊

された。A4版二四八頁の大

冊である。二〇〇枚を超える

記念写真のほか、一〇〇人を

超える執筆者一主として教

子一がそれぞれに思い出を綴

っている。いずれもが先生を

高く仰ぎ懐かしむ思いに溢れ

ている。学生一人ひとりに如

何に愛を注がれたかが分か

る。それにもまして、学徳が

高く仰ぎ懐かしむ思いに溢れ

ている。学生一人ひとりに如

何に愛を注がれたかが分か

る。それにもまして